

## 小学生柔道選手を対象とした研究

藤田 英二

鹿屋体育大学スポーツ生命科学系

例年、スポーツトレーニング教育研究センター（以下トレセン）の重点研究プロジェクトである「アスリート・ドッグシステム」に関する研究の一環として、福岡県柔道協会の協力のもと小学生柔道選手の体力測定を実施していました。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、福岡県柔道協会が行っている小学生柔道選手の強化育成事業が軒並み中止となり、体力測定も行えませんでした。なによりも、全国小学生学年別柔道大会をはじめとしたほぼ全ての大会が中止となり、一生懸命稽古してきた選手達にとって辛い年となりました。

小学生柔道選手体力測定の対象としてきた福岡柔道クラブは、福岡県柔道協会が福岡県出身のオリンピックメダリストの多数育成を目的として、平成14年度に設立しました。福岡柔道クラブでは小学生5年生から中学生までを対象に強化指定選手を選考し、強化合宿の開催などを通じて強化育成を行っています。小学生の部は、福岡県で選手登録している小学5・6年生の500余名の中から、福岡県少年柔道選手権大会での上位入賞者と、福岡県柔道協会の競技者育成委員および各道場の指導者から推薦された選手をあわせた80名余りが強化指定選手として選考され、それにプラスして強化育成事業に自費での参加を希望する育成選手40名程をあわせた約120名で運営されています。出身者では全国高校選手権、金鷲旗大会、インターハイ、皇后杯全日本女子柔道選手権大会などの国内大会のみならず、世界ジュニア選手権、世界柔道選手権大会などの国際大会においても輝かしい成績を残す選手も出てきており、ついには東京オリンピックの代表選手も輩出することができています。また、惜しくも今回のオリンピック代表には選ばれませんでした。2024年のパリオ

リンピック代表および金メダル獲得が十分狙える選手も出てきています。

今後も福岡県柔道協会と協力して、柔道選手のタレント発掘、発育発達に応じた一貫始動プログラムの確立、およびスポーツ障害予防などに役立てる研究を続けていきたいと思っています。